



水産情報速報版

H18.10.13 1213
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行=指導部漁政課
URL:http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/

1. 水産基本政策の確立を求める全国漁民大会が開催される

次期参議院選挙にオール水産の独自推薦候補者として丸一芳訓氏を擁立

JF全漁連、漁業基本対策推進本部、WTO・FTA対策特別推進本部では10月4日、東京虎ノ門パストラルにおいて、全国の漁業代表者2,000余名(本県から40名)が集結し、「経営危機突破!水産基本政策の確立を求める全国漁民大会」を開催しました。

大会は、JF全漁連植村会長の挨拶に続いて、北海道JF白糖柳谷組合長、長崎県JF巖原町浅原組合長が漁民を代表して意見表明を行いました。

次にJF全漁連桜庭副会長(JF北海道信漁連会長)、同木村副会長(JF宮城漁連会長)が、来年に予定されている水産基本計画の見直しや指定漁業許可の一斉更新などを契機として、漁業漁村の再生に向けた水産施策の抜本的強化を求める決議文を読み上げ、満場一致で採決するとともに、出席した自民党国会議員に水産業界の窮状を訴えました。次に、鈴木俊一水産総合調査会長が、自民党の所信表明を行いました。

大会は途中から「水産政治力結集に向けた全国漁民大会」に切り替えられ、次期参議院選挙にオール水産の独自推薦候補を擁立することを緊急提起し、単独候補として丸一芳訓氏(JF兵庫漁連会長)を擁立することを、満場一致で決議しました。

続いて推薦候補者として所信表明に立った丸一氏は、「浜の男の意気地をかけて皆様の想いを、浜の声を国政に反映させるため、ここに参議院選の出馬を表明いたします」と決意を述べ、全国の浜の支援を呼びかけました。

大会終了後、大会会場より農水省、日比谷公園までシュプレヒコールをしながらデモ行進を行い、引き続き、両連会長等代表者が本県選出の衆参議員に対する陳情活動を行いました。

2. 大日本水産会平成18年度水産功績者42名を決定

大日本水産会では、明治23年以来水産業の振興と発展に功績のあった方々を、水産功績者として昨年までに2,655名表彰しています。今年度は都道府県知事に水産功績者候補の推薦を依頼し、推薦された候補者を主体に、去る10月5日開催の水産功績者表彰委員会において、平成18年度水産功績者42名を決定しました。

部門別の内訳では、沿岸漁業関係14名、沖合・遠洋漁業関係6名、増養殖・内水面関係7名、流通・加工・冷凍関係5名、金融・保険・共済関係3名、研究開発関係4名、水産全般で3名となりました。

本県から石津敏夫氏(地頭方漁協組合長)が、沿岸漁業関係部門より選ばれ、井上實氏(前県漁船保険組合専務)が、金融・保険・共済関係部門より選ばれました。

なお、表彰式は11月24日(金)、三会堂ビル(東京都)で執り行われます。

ここに受賞を衷心よりお喜び申し上げるとともに、今後も一層のご活躍をご期待申し上げます。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

3. 河川堤防36%強度不足 大雨で漏水・決壊の恐れ

国土交通省はこのほど、国が管理する河川堤防の安全性調査の中間まとめを発表しました。それによると、2005年度までに調査済の5,922*_□のうち36%の2,113*_□は、強度不足で内部に水がしみ込みやすく、大雨などで増水する堤防の外側に水が漏れ決壊する「浸透破堤」の恐れがあることがわかりました。

国交省は、すぐ決壊に結びつくような危険性はないが、過去に洪水が起きているところや、都市部で大きな被害が想定されるところを重点的に改善したいとしています。

堤防の強度不足の割合を県内の河川別でみると、富士川が調査済116*_□のうち33%、狩野川は同52*_□のうち44%、安倍川は同42*_□のうち35%、大井川は同33*_□のうち27%、菊川は同41*_□のうち8%、天竜川は同172*_□のうち35%となっています。

4. 水産物の市況について(平成18年9月及び10月)を公表

水産庁ではこのほど、東京都中央卸売市場における平成18年9月(8月21日~9月20日集計)の市況と、平成18年10月の市況見通し(前月との比較)を次のとおり発表しました。

平成18年9月の全体市況=東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計)は、前月に比べ増加となり、卸売価格(水産物全体の1kg当たり平均価格)はやや弱含みに推移しました。

平成18年10月の主要品目の市況見通し = 「まいわし(生鮮品)」: 入荷量は前月よりやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。(主漁場は仙台湾、犬吠埼沿岸、駿河湾、九州沿岸、山形沿岸で、魚体は中羽主体) 「さば(生鮮品)」: 入荷量は前月よりやや増加すると見込まれるものの、卸売価格は需要が強いことから横ばいに推移すると見込まれます。「するめいか(生鮮品・冷凍品)」: 入荷量は前月よりやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。(主漁場は北海道から山陰までのほぼ日本海全域) 「あじ(生鮮品)」: 入荷量は前月よりやや増加すると見込まれるものの、卸売価格は既に安値圏にあることから横ばいに推移すると見込まれます。(主漁場は山陰沿岸、九州西沖、房総沿岸) 「まぐろ(冷凍品)」: 入荷量は前月よりやや減少すると見込まれるものの、卸売価格は既に安値圏にあることから横ばいに推移すると見込まれます。「かつお(生鮮品)」: 入荷量は前月よりかなり減少すると見込まれ、卸売価格は強含みに推移すると見込まれます。(産地では釣り、旋網とも水揚げが減少)

5. 会議・日程(10月17日(火)~10月30日(月))

- 既報分省略 -

10月19日(木) 県遊漁船業協会 = 業務主任者講習会 (県水産会館)

10月19日(木)・20日(金) 県桜えび組合漁業組合 = 生産技術研修会

(19日/由比港漁協・20日/大井川町漁協)

10月22日(日) 県漁連 = 口坂本の森づくり活動 (静岡市口坂本)

10月26日(木) 県漁連 = 理事会 (県水産会館)

" 県漁業信用基金協会 = 監事会 (")

" 県漁業共済組合 = 監事会 (")

" 県桜えび組合 = 船長部会/桜えび出漁対策委員会 (")

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう